

向山塗料 S D G s の取り組み の報告

2023年度（1月～12月）の各部門とチームごと、活動の目的と動機、活動の報告です。

2024/1/17

| 行 動 | 目 的 | 動 機 | S D G s の使い方 | 活動報告 |
|------------------|---|---------------------------------|--|--|
| 1 軽油・ガソリンの使用量の削減 | <ul style="list-style-type: none"> ・コスト削減 ・C o 2 削減 ・化石燃料の使用削減 | 温暖化防止への取り組み 効率化を図り、無駄をなくす | 従業員の省エネ意識をS D G s 活用を通じて改善する。 無駄な燃料消費を減らし、効率化を図ることで 気候変動への対策とする。 | ガソリン : 前年度比 2%減らすことが出来ました。 軽油 : 前年度比 ±0%でトータルでは変わりませんでした。 ガソリンの消費量は2%削減することが出来ました。軽油を使うトラックを使用する頻度が多かった 為、前年度と変わりませんでした。 |
| 2 電気使用量の削減 | <ul style="list-style-type: none"> ・コスト削減 ・C o 2 削減 | 温暖化防止の取り組み 無駄をなくす | 従業員の省エネ意識をS D G s 活用を通じて改善する。 無駄な電気の使用を減らし、エネルギー消費を減らす。 | 電気使用量について 200V 前年度比 2%(252k w) 増えてしまいました。 この電気は主に空調機で使用しており、気温等の影響を受けて、使用時間が長 くなってしまった。On-O f f をこまめにコントロールするなど、管理に力を入れたい。 100V 前年度比 3% (219K w) 削減させることが出来ました。 |
| 3 廃棄物の削減 | <ul style="list-style-type: none"> ・資源の有効活用 ・化石燃料の使用削減 | 資源の有効活用 再利用・分別 | 従業員の“モノ”に関する考え方をS D G s を活用して改 善する。持続可能な消費形態の確保。再利用の促進。 | ゴミの分別回収を継続し、紙ごみは甲府商工会議所で行っている回収へ依頼する。 段ボールは田丸さんに依頼し、回収してもらっている。ビニール類・ペットボトルに関してはも 田丸さんに依頼している。 塗料の空缶などは日東金属さんに引きとってもらっている。 運送屋さんに依頼して、なるべくビニール等を使わないように依頼するとともに、 荷物を固定する為に使ったビニールや段ボールは持ち帰って頂く様に依頼している。 |
| 4 遮熱塗料の販売 | <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー消費の削減 ・建築物の保護 | 温暖化防止の取り組み 遮熱塗料の拡販 | 遮熱塗料の塗装により、エネルギー消費量の削減 健康的な生活・建物の保護 | 2023年度の販売目標缶数610缶に対して販売は520缶（達成率85%）でした。 近年、工場などの大規模施設の屋根や壁だけでなく、住宅の塗替えの際にも「遮熱・断熱」 塗料が使われるケースも増えてきています。温暖化の影響で暑いシーズンも長くなって いることから、温度を下げる働きのある塗料の販売に注力していきます。 |
| 5 自然塗料の販売 | <ul style="list-style-type: none"> ・石油起源塗料の 使用量削減 ・建築物の保護 | 植物由来の塗料を使うことで持続 可能な生産消費形態の確保 | 石油原料の削減によるエネルギー消費量の削減 健康的な生活・建物の保護・循環型 | 2023年度の販売目標1076Lに対して実数は1049L（達成率98%）でした。 自然塗料は植物油由来の塗料となっており、有機溶剤などの原料を極力使っていない ことから健康住宅などのこだわりのある建物の木部に使用されています。 次年度も引き続き、石油原料由来の木部塗料を自然系の塗料に切り替えてもらえるように 広報活動を続けながら、拡販に努めていきます。 |
| 6 ペレットの販売 | <ul style="list-style-type: none"> ・森林資源の有効活用 ・再生可能エネルギーの使 用 | 地域循環型社会の構築 | 森林資源を熱源としたストーブ燃料 森林資源の循環（木の活用→植林） | 2023年度はペレットストーブを2台販売しました。 また、ペレットの販売も継続しています。 |
| 7 塗料の水性化 | <ul style="list-style-type: none"> ・石油起源塗料の 使用量削減 ・建築物の保護 | 溶剤塗料から水性塗料への転換を 図る | 溶剤塗料の削減による石油原料の削減 水性化による大気への影響の削減 人体への影響を削減 | 建築用塗料は、メーカーも水性化を促進していることから、屋根用・壁用問わず、ほぼすべてで水性 塗料もラインナップされています。ただ、寒い時期や鉄部塗料などに関しては、まだ油性塗料の方が 相性いいケースもあります。 最近ではバイオマス由来成分を含有した塗料や、製造工程でのC o 2 排出量を抑えた塗料など、今ま でなかったタイプの塗料がはじめています。 |

